

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

令和7年4月から令和7年9月の上半期を対象とし、調査時点は令和8年1月31日。

(2) 調査対象企業

清須市商工会地区内71企業。

内訳は、製造業10企業、建設業17企業、卸小売業14企業、飲食業14企業、サービス業16企業。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(令和7年4月～令和7年9月期実績、令和7年10月～令和8年3月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

産業全体は売上額DI、採算DIが悪化、資金繰りDIが改善

今期の産業全体における景況は、売上額DIが-7.0、採算DIが-16.9となり、対前期比でそれぞれ-1.5ポイント、-1.8ポイント悪化、資金繰りDIが-1.4となり、対前期比で+10.9ポイント改善した。

産業全体では、3期前から悪化の方向にある。その中において、資金繰りDIは当期大幅に改善した。

次期の産業全体は、売上額DI、採算DIは改善する見通しだが、資金繰りDIは悪化する見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-7.0% (対前年比 -2.9悪化)	次期予想	-2.8% (対前年比 2.7改善)
・採算DI	-16.9% (対前年比 3.6改善)	次期予想	-14.1% (対前年比 1.0改善)
・資金繰りDI	-1.4% (対前年比 8.2改善)	次期予想	-7.0% (対前年比 5.3改善)

産業全体景況天気図

総評



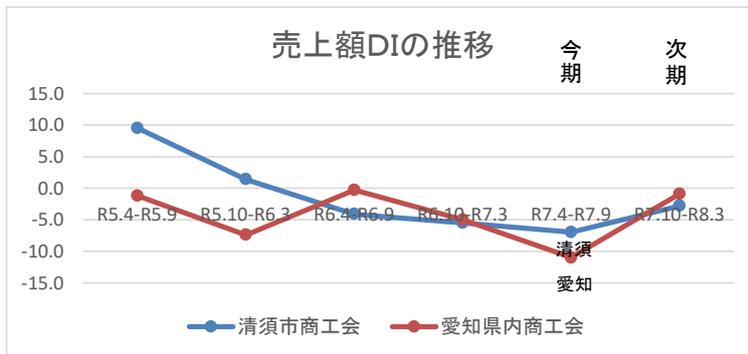
時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		9.5%		1.4%		-2.7%
5年10月～6年3月		1.4%		-8.2%		-2.7%
6年4月～6年9月		-4.1%		-20.5%		-9.6%
6年10月～7年3月		-5.5%		-15.1%		-12.3%
7年4月～7年9月 (今期)		-7.0%		-16.9%		-1.4%
7年10月～8年3月 (見通し)		-2.8%		-14.1%		-7.0%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会(愛知県)と清須市商工会(清須市)との比較

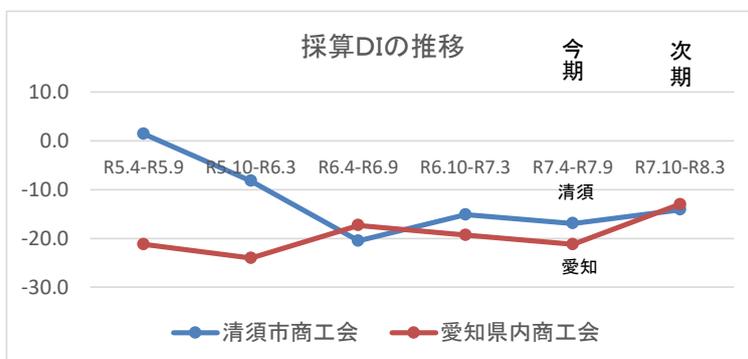
①売上額DI

今期は前期に続き、清須市、愛知県共に悪化している。指標値では清須市が上回った。
次期は清須市、愛知県共に改善する見通し。指標値は愛知県が上回る見通し。



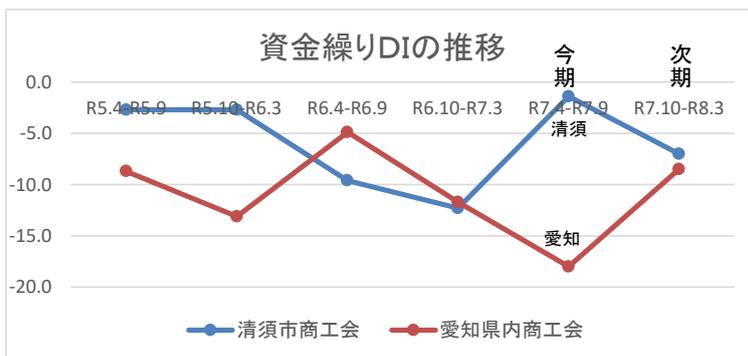
②採算DI

今期は清須市、愛知県共に悪化している。指標値では清須市が上回った。
次期は清須市、愛知県共に改善する見通し。指標値は愛知県が上回る見通し。



③資金繰りDI

今期は清須市が大幅に改善、愛知県は大幅に悪化している。指標値は清須市が大幅に上回った。
次期は清須市が悪化、愛知県は大幅に改善する見通し。指標値は清須市が上回る見通し。



【全産業平均】

売上額DIの推移

時期	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	今期 R7.4-R7.9	次期 R7.10-R8.3
清須市商工会	9.5	1.4	-4.1	-5.5	-7.0	-2.8
愛知県内商工会	-1.2	-7.4	-0.3	-5.0	-11.0	-0.9

採算DIの推移

時期	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	R7.4-R7.9	R7.10-R8.3
清須市商工会	1.4	-8.2	-20.5	-15.1	-16.9	-14.1
愛知県内商工会	-21.2	-24.0	-17.3	-19.3	-21.2	-13.0

資金繰りDIの推移

時期	R5.4-R5.9	R5.10-R6.3	R6.4-R6.9	R6.10-R7.3	R7.4-R7.9	R7.10-R8.3
清須市商工会	-2.7	-2.7	-9.6	-12.3	-1.4	-7.0
愛知県内商工会	-8.7	-13.1	-4.9	-11.7	-18.0	-8.5

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書(愛知県概略版)から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上額DIが横ばい、採算DI、資金繰りDIが好転

製造業では、売上額DIが0.0となり、対前期比で横ばい、採算DIが20.0、資金繰りDIが30.0となり、対前期比でそれぞれ+38.2ポイント、+20.9ポイントと好転した。

特に、採算DI、資金繰りDIは、前期から大幅に良化した。

次期は一転、すべての指標が大幅に悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	0.0% (対前年比 20.0改善)	次期予想	-40.0% (対前年比 -40.0悪化)
・採算DI	20.0% (対前年比 60.0改善)	次期予想	-10.0% (対前年比 8.2改善)
・資金繰りDI	30.0% (対前年比 70.0改善)	次期予想	-10.0% (対前年比 -19.1悪化)

製造業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		10.0% ⇨		10.0% ↗		-20.0% ↘
5年10月～6年3月		0.0% ↘		-11.1% ↘		-11.1% ↗
6年4月～6年9月		-20.0% ↘		-40.0% ↘		-40.0% ↘
6年10月～7年3月		0.0% ↗		-18.2% ↗		9.1% ↗
7年4月～7年9月 (今期)		0.0% ⇨		20.0% ↗		30.0% ↗
7年10月～8年3月 (見通し)		-40.0% ↘		-10.0% ↘		-10.0% ↘

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2) 建設業

建設業は売上額DI、採算DIが悪化、資金繰りDIが横ばい

建設業では、売上額DIが-29.4、採算DIが-41.2となり、それぞれ対前期比で-17.6ポイント、-35.3ポイントと悪化、資金繰りDIが-23.5となり、対前期比で横ばいとなった。

特に前期から売上額DI、採算DIが大幅に悪化している。

次期は、全ての指標が大幅に改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-29.4% (対前年比 -23.8悪化)	次期予想	0.0% (対前年比 11.8改善)
・採算DI	-41.2% (対前年比 -24.5悪化)	次期予想	-17.6% (対前年比 -11.7悪化)
・資金繰りDI	-23.5% (対前年比 -17.9悪化)	次期予想	-5.9% (対前年比 17.6改善)

建設業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		6.3% ↗		6.3% ↗		-6.3% ↗
5年10月～6年3月		11.8% ↗		-5.9% ↘		0.0% ↗
6年4月～6年9月		-5.6% ↘		-16.7% ↘		-5.6% ↘
6年10月～7年3月		-11.8% ↘		-5.9% ↗		-23.5% ↘
7年4月～7年9月 (今期)		-29.4% ↘		-41.2% ↘		-23.5% ⇔
7年10月～8年3月 (見通し)		0.0% ↗		-17.6% ↗		-5.9% ↗

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3)小売業

小売業はすべての指標が大幅に改善

小売業では、売上額DIが7.1、採算DIが-7.1、資金繰りDIが7.1となり、対前期比でそれぞれ+28.5ポイント、+35.8ポイント、+50.0ポイント改善した。

すべての指標が大幅に改善し、売上額DI、資金繰りDIはプラス値に好転している。

次期は、売上額DI、採算DIが更に良化、資金繰りDIは悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	7.1% (対前年比 35.7改善)	次期予想	21.4% (対前年比 42.8改善)
・採算DI	-7.1% (対前年比 14.3改善)	次期予想	0.0% (対前年比 42.9改善)
・資金繰りDI	7.1% (対前年比 50.0改善)	次期予想	-7.1% (対前年比 35.8改善)

小売業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		0.0% ↗		-6.3% ↗		-6.3% ↗
5年10月～6年3月		-20.0% ↘		-6.7% ↘		6.7% ↗
6年4月～6年9月		-28.6% ↘		-21.4% ↘		-42.9% ↘
6年10月～7年3月		-21.4% ↗		-42.9% ↘		-42.9% ⇔
7年4月～7年9月 (今期)		7.1% ↗		-7.1% ↗		7.1% ↗
7年10月～8年3月 (見通し)		21.4% ↗		0.0% ↗		-7.1% ↘

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業は売上額DIが改善、採算DI、資金繰りDIが悪化

飲食業では、売上額DIが7.1となり、対前期比で+27.1ポイント改善、採算DIが-50.0、資金繰りDIが-28.6となり、対前期比でそれぞれ-10.0ポイント、-1.9ポイント悪化した。

特に、売上額DIが好転しプラス値となった一方で、採算DIは-50.0まで悪化した。

次期は、売上額DIが悪化、採算DI、資金繰りDIは改善する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	7.1% (対前年比 7.1改善)	次期予想	-7.1% (対前年比 12.9改善)
・採算DI	-50.0% (対前年比 -10.0悪化)	次期予想	-42.9% (対前年比 -2.9悪化)
・資金繰りDI	-28.6% (対前年比 -35.3悪化)	次期予想	-21.4% (対前年比 5.3改善)

飲食業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		23.5%		-17.6%		-5.9%
5年10月～6年3月		6.3%		-25.0%		-12.5%
6年4月～6年9月		0.0%		-40.0%		6.7%
6年10月～7年3月		-20.0%		-40.0%		-26.7%
7年4月～7年9月 (今期)		7.1%		-50.0%		-28.6%
7年10月～8年3月 (見通し)		-7.1%		-42.9%		-21.4%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業はすべての指標が悪化

サービス業では、売上額DIが-12.5、採算DIが6.3、資金繰りDIが18.8となり、対前期比でそれぞれ-37.5ポイント、-18.7ポイント、-6.2ポイント悪化した。

前4期間は全指標がプラス値で推移してきたが、今期は売上額DIのみがマイナス値となった。

次期は、売上額DIが改善、採算DI、資金繰りDIが悪化する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-12.5% (対前年比 -37.5悪化)	次期予想	0.0% (対前年比 -25.0悪化)
・採算DI	6.3% (対前年比 0.0横ばい)	次期予想	0.0% (対前年比 -25.0悪化)
・資金繰りDI	18.8% (対前年比 0.0横ばい)	次期予想	6.3% (対前年比 -18.7悪化)

サービス業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
5年4月～5年9月		6.7%		20.0%		20.0%
5年10月～6年3月		6.3%		6.3%		0.0%
6年4月～6年9月		25.0%		6.3%		18.8%
6年10月～7年3月		25.0%		25.0%		25.0%
7年4月～7年9月 (今期)		-12.5%		6.3%		18.8%
7年10月～8年3月 (見通し)		0.0%		0.0%		6.3%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

今回も全業種で、原材料・材料等仕入単価の上昇、その他の経費の増加が上位を占めており、物価高騰の影響が続いている。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	29.6%
	2位	生産設備の不足・老朽化、製品(加工)単価の低下・上昇難	11.1%
	2位	取引条件の悪化、需要の停滞	11.1%
建設業	1位	材料価格の上昇	25.7%
	2位	人件費の増加	11.4%
	3位	材料費・人件費以外の経費の増加、請負単価の低下・上昇難	8.6%
小売業	1位	仕入単価の上昇	37.1%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	11.4%
	2位	販売単価の低下・上昇難	11.4%
飲食業	1位	材料等仕入単価の上昇	31.4%
	2位	人件費以外の経費の増加	17.1%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	14.3%
サービス業	1位	人件費以外の経費の増加	18.2%
	2位	材料等仕入単価の上昇	15.2%
	3位	利用者ニーズの変化への対応、従業員の確保難	12.1%

5 取り組むべき経営課題

問題の解決に向けた経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。全産業平均においては、常に上位に上がる販路開拓が課題認識のトップになっている。次に、物価高騰等の影響によりコスト削減が2位になっている。以前は圧倒的に販路開拓が課題とされていたが、最近はコスト削減が重要視されてきている。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	販路開拓	28.6%
	1位	設備投資	28.6%
	3位	人材募集、現場改善	14.3%
建設業	1位	コスト削減	36.8%
	2位	販路開拓	31.6%
	3位	現場改善	10.5%
小売業	1位	販路開拓	28.6%
	2位	コスト削減	19.0%
	3位	設備投資、新製品開発	14.3%
飲食業	1位	販路開拓	26.7%
	1位	新製品開発	26.7%
	3位	コスト削減	20.0%
サービス業	1位	人材募集	27.8%
	1位	設備投資	27.8%
	3位	販路開拓	16.7%
全産業平均	1位	販路開拓	25.3%
	2位	コスト削減	20.7%
	3位	設備投資	17.2%